

令和6年度入学式

13名の新入生を迎え、島内外から集まった生徒たちが全学年に揃いました！

子どもと共に

発行人
中島中学校
校長 野真太郎
松山市長 師817
997-0204



入学式 校長式辞

春の息吹を感じる今日、このよき日に、入学式を迎えられました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。今年遅咲きの桜が、ここ中島においても満開を迎える中、在校生、教職員一同、青潮寮横の桜とともに、十三名の新入生の登校を心待ちにしております。(中略)

さて、式辞にあたり、皆さんに、三つのことをお話しいたします。

一つ目は、「自分、そして仲間を大切にしよう」です。自己肯定感を高めることが、今、求められています。自分だけでなく、自分も思ふ必要はないのです。まずは、長所も短所も含め、自分を好きになることとです。そして、仲間たち一人一人も思うっている集団だからこそ、お互い仲間を大切に、「あなたも、そして、隣の仲間もみんなが楽しいと思える集団づくり」ができるのだと私は信じています。そんな集団だからこそ、誰もがみな安心して自己表現でき、自分自身を成長させることができるので

す。

二つ目は、「いろいろなことに挑戦しよう」です。中島中学校は少人数の学校です。一人一人の活躍の場が数多くあります。様々な場面において、チャレンジ精神を發揮し、成長につなげてほしいと思います。「失敗と書いてせいちよう(成長)」と読むのは、プロ野球の名選手、名監督であった故・野村克也氏の言葉です。高校卒業後、テスト生としてプロの世界に飛び込んだ野村氏は、自分の失敗の原因を自ら分析・克服し、後に選手として三冠王やホームラン王を獲得し、監督としても数々の優勝を果たしていったのです。人にはそれぞれ個性、そして良さがあります。皆さんにも、自分を信じ失敗や苦しさを恐れず、目の前の課題に真正面から立ち向かい、強い忍耐力で未来を切り拓いてほしいと願っています。

三つ目は、生徒会スローガン「覇気ある中中生」を目指そうです。「覇気」とは、中島中学校が継承し続けている、物事に前向きに取り組みもうとする意気込みのことです。具体的には、「自ら進んで元気に挨拶できる人」「謙虚さを持ち続け成長し続ける人」を目指してほしいと思います。先輩たちもそこを目指し、中中をより誇り高き学校にしていこうと、日々頑張っています。ぜひ、そんな先輩たちを見習い、一年後、二年後と中中を引っ張っていく存在になってほしいと心から願っています。

保護者の皆様、本日はお入学生のご入学誠にありがとうございます。

います。晴れやかな

お子さんの姿に、喜

びもひとしおのこと

と存じます。我々は、

中島中学校がひとつ

の大きなフアミリー

となれますよう「自

分と仲間とふるさと

中島への自信と誇り

を育む教育実践」を

モットーに、「ふるさ

とと共に歩む覇気あ

る学校づくり」を目

指して、全力で努め

てまいります。これ

からの三年間、ご支

援・ご協力のほど何

卒よろしくお願い申

し上げます。

ご来賓の皆様にお

かれまして、今後

とも、「ふるさと中島

とともに歩み続ける

【チーム中島】中島

中学校の教育活動に

対しまして、「指導・

ご支援を賜りますよ

う、よろしくお願い

いたします。

結びに、松山市全

市域募集3年目を迎

え、今年度が島内外

の生徒の融合が新た

なる歴史につながる

新生中島中学校が全

学年そろってスター

トする年となります。

2024年が辰年で

あることになぞらえ、

校長である私は、天

高く昇っていく『昇

龍』を中中のイメー

ジに重ねています。

『昇龍』となつて高

みを目指し、上昇し

続ける新入生並びに

中島中学校のこれか

らの成長・発展を心

から願ひ、式辞とい

たします。

新入生誓いの言葉



一年 仁平

本日は、私たち新

入生のためにこのよ

うな盛大な入学式を

していただき、あり

がとうございます。

先日、私たちは

様々な思いを胸に小

学校を卒業しました。

今日からは中学生で

す。新たな生活の始

まりに不安な気持ち

もあります。それ

以上に新しい先生や

先輩、新たな仲間と

の出会い、そして今

までとは異なる生活

を楽しみに、今日こ

の日を迎えました。

私は、中学校で頑

張りしたいことが三つ

あります。

一つ目は、学習で

す。中学校は小学校

と比べ、学ぶ教科が

増えたり難しくなっ

たりします。小学生

の時、私は算数が苦

手でした。そこで中

学校では、積極的に

予習復習を行い、苦

手を克服していき

たいです。

二つ目は、仲間や

先輩との協力です。

今年も島外からの新

たな仲間がいます。

自分から積極的にコ

ミュニケーションを

取り、仲間や先輩方

と協力してたくさん

の活動に取り組んで

いけるようにしたい

です。

三つ目は、何事に

も全力で取り組むこ

とです。私は小学生

の時から中学生が

様々な行事に全力で

取り組む姿を見て、

とても憧れを抱いて

いました。その憧れ

の中学生になった今

日、私も日々の生活

や行事に全力で挑戦

していききたいです。

慣れないことばか

りの中学校生活です

が、新入生一同団結

力を高め、精一杯頑

張っていきますので、

先生方、先輩方、こ

れから三年間よろし

くお願いいたします。



新任式・始業式

四月八日に、新任式、始業式を行いました。今年度新たに三名の教職員が加わり、スタートを切りました。生徒、教職員が一丸となって覇気ある中島中学校を目指します。



覇気ある中学生を

目指して



二年 絢奈

春休みが終わり、今日から二年生です。ちようど一年前、勉強や部活動を頑張ろうと張り切っていたのを思い出します。

しかし、昨年一年間を思い返すと、学校生活に慣れていくうちに、いつの間にか最初の気持ちを忘れてかけていたように思えます。一年後には受験生になります。受験生になってからは遅いこともたくさんあるので、今から努力を重ねていきたいです。

まず、苦手な教科の勉強に積極的に取り組みます。やらないうといけないと分かっているだけでも、どうしても苦手な教科を後回しにしないで済みます。そこで、好きな教科と苦手な教科を交互にするなど、勉強方法を工夫して継続できるようにしたいと思います。

また、スキ間時間を上手に使うことを意識したいです。たとえば、登校後の朝の時間や給食後の時間、船での移動時間などです。毎日やらなければいけないことに追われ、なかなかまとまった勉強時間確保することができていません。しかし、少しずつの間でも、積み重ねれば大きな時間にする

ことができます。単語帳などを活用しながら、スキ間時間を有効に使う習慣をつけたいです。

生活面では、覇気あるかっこいい先輩を目指して行動します。昨年、学校生活に慣れず不安でいっぱいだった時に、先輩方が優しく丁寧に教えてくださり、すごく安心したのを覚えています。私も、そんな先輩方のように、新一年生に優しく接したいです。また、一年生の良いお手本になれるよう、何事にも積極的に挑戦していきたいです。そして、先頭で引っ張ってくださる三年生を少しでも支えることができるよう、二年生としての自覚を持って生活します



三年生としての目標



三年 ももか

これから、私にとって義務教育最後の一年間が始まります。

今までを振り返ると、学習面や生活面で、つい自分に甘くなってしまうことがあったように思います。これまでの反省をもとに、三年生として次の三つの目標を立てました。

一つ目は、積極的に行動することです。今年度は最上級生として、人前に立ったり、後輩に教えたりする場面が多くなります。だから、先輩として、積極的に行動

動できるようになりたいです。今は、来月末に開催される小中合同運動会の応援合戦の練習が始まっています。下級生に応援の動きを分かりやすく丁寧に教えられるようにしたいです。

二つ目は、今まで以上に勉強に力を入れることです。受験生なので、受験生になったという自覚を持って、より一層勉強に励まなくてはなりません。そのため

に、これまでの学習内容の復習に時間を使いたいと考えています。教科書の問題やワークを解き直したり、自主勉ノートにまとめ直したりして、自分の目指す進路を実現させるため

三つ目は、健康に気を付けた生活をするということです。心身ともに元気でなければ、先ほど挙げた「積極的に行動すること」「勉強に力を入れること」という目標を達成できません。休日に適度な運動をすることや早寝早起き

といった基本的な生活習慣を守ること、栄養バランスのとれた食事をするこなどを心がけ、健康的な日々を送りたいです。

これらの目標をしっかりと意識し、義務教育の最後の一年間を大切に過ごし、後輩のお手本になりたいです。

